

## こども霞が関見学デー（農林水産省）の 豆類の展示等の取り組み状況について

（公財）日本豆類協会

令和元年8月7日、8日の2日間でこども霞が関見学デーが開催されました。今年は、「これであなたも豆博士！」をテーマに、「たくさんの種類の豆にふれて、クイズに挑戦してみよう！」を主な内容とした企画となっていました。当協会としましては、展示、配布資料の提供を通じて支援、協力しました。

子ども達を対象に、小豆等の種子、花、豆製品の正しい結びつきを選ぶ「豆クイズ」が行われ、参加者には景品として、ガチャ玉マシンから取り出す豆入りカプセル（小豆等4種類、栽培方法の説明メモ入り）及び豆エイトシール、甘納豆の小袋、一口羊かんが、豆エイトの印刷された綿製トートバッグとともに提供されました。こども達は楽しそうにガチャ玉マシンから豆入りカプセルを取り出していました。

会場の中央には、大きなボウルに入った小豆、金時豆、ひよこ豆、レンズ豆、花豆等の乾燥豆に直接触れて色、形、大きさ等の違いを実体験してもらう「マメつかみコーナー」が設置されました。

また、昨年に引き続き、北海道の十勝農業試験場から提供いただいた小豆、白花豆、大豆の「鉢植え展示コーナー」が設けられ、子ども達は豆に直接触れ、その特徴や感触の違いに興味を持ち、楽しげに豆の花や莢と接していました。

その他、豆の優れた栄養、機能性等の知識・情報の得られるパネルの掲示、豆料理のレシピ等の冊子の配布、世界の豆の現物標本、豆エイトのタペストリーの展示、甘納豆をはじめ豆類加工品の展示等が行われていました。

今年は、2日間で1,200名以上の来場者があったとのことであり、今回の企画を通じ、子ども達の豆に対する興味や関心が高まり、豆好きの子どもが一層増えることを期待します。



豆クイズコーナー



マメつかみコーナー



豆の鉢植え展示コーナー